



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 25 (文責 永杉尚久)

卒業式とその後・・・



胸を張り、笑顔で入場する卒業生

3月3日、61名の卒業生が希望を胸に巣立っていきました。義務教育9年間の最後で最高の姿を見せてくれたと感じています。心に残る卒業式でした。

今年の卒業式は、3年ぶりに在校生が全員体育館で参列しました。同じ空間で卒業生を見つめる在校生は、1年後・2年後の自分に重ね心の中にめざすものを感じてくれたことと思います。

3年生がいなくなった学校は、ぽっかりと穴が空いたようになっていく感じがします。卒業生のみんなは、まだ受験を残している人を含め、高校への準備を行っていることと思います。

さて、残った1・2年生は学年が1つ上がる準備を進めています。まずは、今の学年のまとめをしっかりと行いやり残さないこと。次に、自分の夢や目標を確認し、次の学年でやるべきことをはっきりとさせることです。「**自覚することです。**」

先日、テレビで「徳川家康の本当の顔はどれか!」という内容の番組が 있었습니다。その中で、『家康は天下を取ると決めた時、顔つきが変わった。』という話がありました。人は、覚悟を決めた時、自覚した時、顔に表れます。

桜の花が咲き始める時のように、南関中生のみんなの表情が一人ずつひきしまって、輝きを増していけるよう手助けができればと考えています。



繰り返します、次のステップの目標をしっかりと持ちましょう。

今日の論語

子曰わく、
「**小** 忍ばざれば、**則ち** **大** 謀を乱る。」と。

先生は言われた、「小さなことが我慢できなければ、大きな望みを成し遂げることはできない。」と。生徒の皆さんには、夢や目標があると思います。その達成のためには、コツコツと努力を積みあげていくことが大切です。根気がいり、時には投げ出したくなることもあるかと思いますが、でも我慢が必要です。投げ出した時に道は閉ざされず。

「成功は、努力をし続けた人によつて来ます。」

地域部活動への移行

教育委員会より地域部活動移行への方向性が新たに示されましたので概要をお知らせ致します。

- ①地域部活動への完全移行を令和8年度とする。令和5～7年度は可能な部活動から順次移行を進める。
 - ②令和5年度の部活動は次の通りとする。
 - 平日の指導は、教員を主に行う。
 - 休日(土日、祝日)の指導及び試合の引率等は地域指導者が主に行う。
- ※ただし、年度当初からこの体制での活動は無理があるので前期(9月いっぱい)を目処に移行していく。また、平日の練習も可能な範囲から地域指導者へ移行していく。
- ③令和5年度に完全移行のモデルになる部を1つ設定し、試行する。